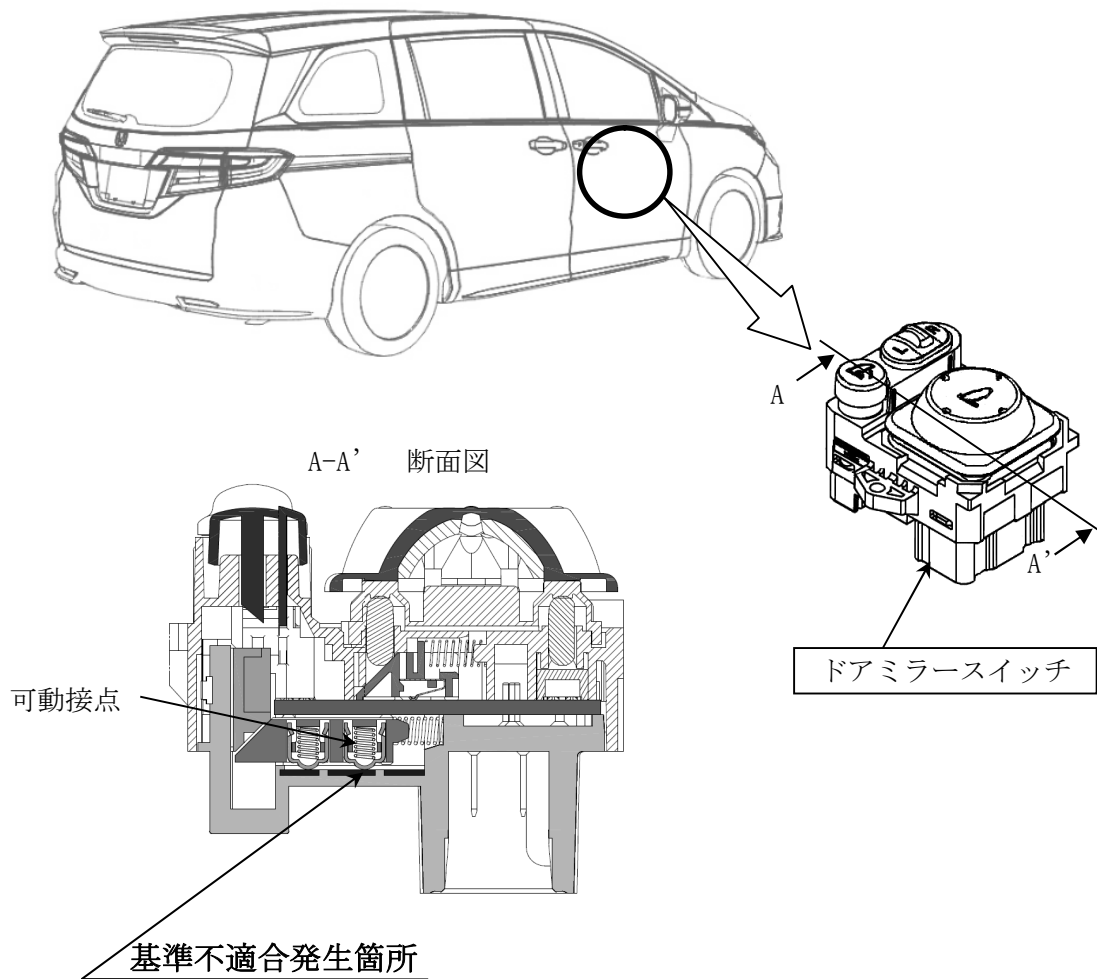


改善箇所説明図



ドアミラーにおいて、ミラースイッチ内部の可動接点の表面処理が不適切なため、当該スイッチ操作時に可動接点が摩耗し、摩耗粉が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、摩耗粉が堆積して酸化し接触抵抗が増大することで、走行中または停車中にドアミラーが格納するおそれがある。

改善の内容

全車両、ドアミラースイッチを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席側ドア下側ヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。